

【様式 1】

令和 4 年度

児童生徒と向き合う時間の確保とワーク・ライフ・バランスの実現に向けて

【浜坂南小学校】

取 組 目 標		目標達成に向けた具体的な取組	成 果	課 題
1	定時退勤日の完全実施	・ノー会議デー（毎週月曜日）の設定 ・全職員共通の定時退勤日（毎週月曜日 18:00）の設定 ・My 定時退勤日設定の奨励 ・学校だよりや役員会議等による PTA、地域への周知	・ノー会議デーは完全実施することができた。 ・外部への啓発効果もあり、夜間の外部からの連絡は減少した。	・設定した退勤時刻までに退庁する職員や日数は増加したが、まだ完全実施とは言えない。
2	業務・会議の効率化	・職員朝会の精選（週初めの 1 日のみ） ・e3office の活用（軽微な連絡、職員会議、校内研修等） ・協議事項の提案時間設定 ・提案事項の事前調整（よく練られた提案） ・日常のコミュニケーションの充実 ・コミュニティ・スクールの活用 ・行事・会議の精選 ・計画的年次休暇取得目標設定（年間 10 日以上） ・図書管理システムの構築	・職員朝会を最小限にすることにより、朝の児童対応の時間を確保することができた。 ・収穫祭や校内マラソン大会など、コミスクの活用により効果的な学校行事を実施することができた。また、独居老人年賀状送付を廃止した。 ・昨年度より在籍している職員は全員超過勤務時間を短縮することができた。（令和 3 年度と令和 4 年度 12 月分までを比較。平均月 4 時間程度短縮。）	・ICT 活用の観点で、学習系と校務系がシームレスに接続できれば、効率的に業務を処理できる。（セキュリティを確保した上で） ・GIGA タブレットが活用しきれていない。（活用するためのスキルアップに時間を要する） ・物品管理が十分できていない。 ・年次休暇を 10 日以上取得した職員は 15% だけだった。（平均 8.2 日） ・新たな教育課題、校務処理が年々増加し、削減される業務はほとんどない。